

各 位

兵庫県後期高齢者医療広域連合
給付課

「兵庫県後期高齢者医療 高額介護合算療養費」の不支給決定について

先に申請のありました高額介護合算療養費について、別添のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

今回不支給となりましたのは、医療保険の自己負担額と介護保険の自己負担額を合算し、高額介護合算療養費の支給額を算出したところ、下表の「自己負担限度額＋５００円」を超えなかったためとなります。

なお、別添通知書の「計算対象期間中の自己負担額の合計額」は医療保険分のみ掲載しています。

後期高齢者医療制度における自己負担限度額

負担割合	所得区分		後期高齢者医療制度＋介護保険の自己負担限度額（年額）
			平成３０年８月診療分から
３割	現役並み所得者	Ⅲ	２１２万円
		Ⅱ	１４１万円
		Ⅰ	６７万円
２割	一般Ⅱ		５６万円
１割	一般Ⅰ		
	低所得	Ⅱ	３１万円
		Ⅰ	１９万円

※ 同時に申請のありました高額医療合算介護（予防）サービス費および高額医療合算介護予防サービス費相当事業の支給については、各市町担当課が、別途お知らせする予定です。制度の詳細については、裏面を参照してください。

この案内文は、兵庫県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例第７条第３項第６号の規定に基づき介護保険者（各市町）から収集した、あなたの高額医療合算介護予防サービス費相当事業に関する情報に基づきお送りしています。

①高額介護合算療養費

1 年間の医療保険の自己負担額と介護保険の自己負担額の合計が、一定の限度額（所得に応じて変わります）を超えた場合に、医療分として後期高齢者医療広域連合から支給されます。

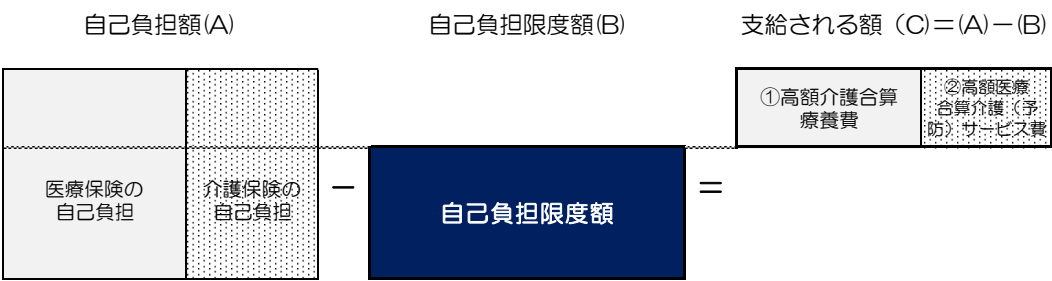
②高額医療合算介護（予防）サービス費

1 年間の医療保険の自己負担額と介護保険の自己負担額の合計が、一定の限度額（所得に応じて変わります）を超えた場合に、介護分として各市町の介護保険担当課から支給されます。

③高額医療合算介護予防サービス費相当事業

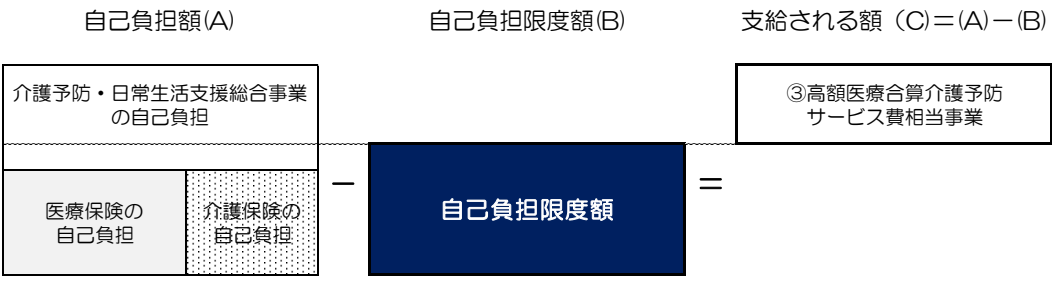
①、②の計算後、なお残る自己負担額と、介護予防・日常生活支援総合事業の自己負担額の合計が、一定の限度額（所得に応じて変わります）を超えた場合に、総合事業分として各市町の総合事業担当課から支給されます。

①高額介護合算療養費または②高額医療合算介護（予防）サービス費が支給される場合のイメージ図



※自己負担額(A)から自己負担限度額(B)を差し引いた金額を、医療保険と介護保険それぞれの自己負担で按分し、前者が①高額介護合算療養費、後者が②高額医療合算介護（予防）サービス費として支給されます

③高額医療合算介護予防サービス費相当事業が支給される場合のイメージ図



※①高額介護合算療養費および②高額医療合算介護（予防）サービス費は不支給となりますが、自己負担額(A)から自己負担限度額(B)を差し引いた金額が、③高額医療合算介護予防サービス費相当事業として支給されます